

數十年の後歐洲の天に戰雲暗澹
たることあらん時東京の新聞記
者は編輯局にゐながら電氣力に
よりて其狀況を早取寫眞となす
ことを得べく而して其寫眞は天
然色を現象すべし

要約

數十年後にヨーロッパで戦争が起こったとき
には、東京の新聞記者は編集局にしながら
にしてカラー写真を電送できるようになる。

実現している

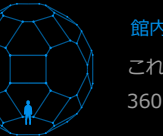
〈解説〉

ファクシミリのことです。昭和初期には写真電送装置と呼ばれていました。ファクシミリの研究の歴史は古く、電話が開発される30年以上も前の1843(天保14)年に原理が考案されています。しかし、実際に登場するのは80年以上も後のことです。日本では日本電気が開発したNE式写真電送機が1928(昭和3)年11月10日に行われた昭和天皇の即位の儀式を京都から東京に伝送したのが実用化第1号でした。カラー化は1988(昭和63)年のソウルオリンピック目前に高解像度のカラーイメージスキャナーが登場し、同時に日本の主要都市に光ファイバーが敷設され、デジタル通信回線の普及により高解像度のカラー写真が電送されるようになりました。現在はファクシミリではなく、インターネット、メールで高解像度の画像を世界中で送受信できるようになりました。

館内企画展アーカイブ

バーチャル展示室

THE VIRTUAL
EXHIBITION ROOM 360



館内企画展アーカイブ **バーチャル展示室360** > <https://www.tcm.it.org/360virtual/>

これまでにトヨタ産業技術記念館で開催した企画展をご紹介します。デジタルアーカイブです。

360度VRコンテンツで、臨場感溢れるバーチャル展示をお楽しみください。



トヨタ産業技術記念館

当サイトに掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。

Copyright(C) Toyota Commemorative Museum of Industry and Technology All rights reserved.